根源仏典 5

正しい努力
に関係づけられた経典

Sammappadhāna-Saṁyutta

責任監修 真理の御魂（みたま） 最聖 麻原彰晃尊師
訳 サキャ神賢直説根源仏典翻訳チーム

根源仏典 5

正しい努力
に関係づけられた経典

Sammappadhāna-Saṁyutta

責任監修 真理の御魂（みたま） 最聖 麻原彰晃尊師
訳 サキャ神賢四説根源仏典翻訳チーム

序

「仏教とは何か?」と問うたとき、多くの聖者方は「四つの正しい努力」を指し示す。つまり、二正勤二正断のことである。

二正勤二正断とは何かというと、要するに今生じている善法の増大と、それから今生じている悪業の現象化、これを未来・現在・過去にわたり言い表わした言葉であるということである。

この、言い表わした内容をわたしたちが実践することにより、わたしたちの記憶および修習はより神々的になり、そし

て最終的には、離愛著、滅尽、そして煩悩捨断といった方向へと向かうのである。

この煩悩捨断の最終地点には何があるのか。そこには、絶対自由・絶対幸福・絶対歓喜が存在する。

絶対自由とは何か。これは三界において自由に身を現わすことができる能力を指す。

絶対幸福とは何か。それは法則そのものをすべて体得しているがゆえに、不幸が全くない状態である。

絶対歓喜とは何か。それは、わたしたちの五つの構成要素が、功徳によって満ち足りているがゆえに、歓喜の五つの構成要素になっていることを表わしている。

この状態でわたしたちが生を受けた場合、それは普通の人の生と違い、苦しみが全く生じない状態が形成される。——

その土台、それがこの「四つの正しい努力」である。

さあ皆さんも、この四つの正しい努力を実践しよう！

麻原彰晃

根源仏典5

正しい努力に関係づけられた経典
（サンマッパダーナ・サンユッタ）

目次

序 1

第一　ガンガー復誦 10

【一】第一　東（一） 10

【二】第二　東（二） 13

【三】第三　東（三） 15

【四】第四　東（四） 16

【五】第五　東（五） 18

【六】第六　東（六）　20
【七】第七　海（一）　22
【八】第八　海（二）　24
【九】第九　海（三）　25
【一〇】第十　海（四）　27
【一一】第十一　海（五）　29
【一二】第十二　海（六）　31

第二　怠惰でないこと品　34
【一三】第一　真理勝者　34
【一四】第二　足跡　36
【一五】第三　屋根　38
【一六】第四　根　40
【一七】第五　心材　41
【一八】第六　マツリカ　43

【一九】第七　王子　45
【二〇】第八　月　47
【二一】第九　太陽　49
【二二】第十　衣服　51

第三　力でなすべきこと品――54

【二三】第一　力　54
【二四】第二　種子　56
【二五】第三　龍　58
【二六】第四　樹木　60
【二七】第五　かめ　62
【二八】第六　穂先　63
【二九】第七　空　66
【三〇】第八　雷雲（一）　68
【三一】第九　雷雲（二）　70

【三二】第十　ボート　72
【三三】第十一　滞在客　74
【三四】第十二　河　78
第四　願望の基準　82
【三五】第一　願望　82
【三六】第二　性質　88
【三七】第三　漏　94
【三八】第四　生存　100
【三九】第五　三つの苦しみの本質　106
【四〇】第六　妨害　112
【四一】第七　垢　118
【四二】第八　錯乱　124
【四三】第九　感覚　130
【四四】第十　渇愛　136

第五　氾濫品
【四五】第一　氾濫　143
【四六】第二　鎖つきの首輪　149
【四七】第三　とらわれ　155
【四八】第四　種々の束縛　161
【四九】第五　性癖　167
【五〇】第六　愛欲の構成部分　174
【五一】第七　障害　182
【五二】第八　集積　188
【五三】第九　下位に結びつける　195
【五四】第十　上位に結びつける　201

言語対比表　208

※『正しい努力に関係づけられた経典（Sammappadhana-Saṁyutta）』の翻訳は、Pali Text Societyの『Saṁyutta Nikāya Vol.V』をテキストとした。なお、確実に誤植と思われるところは、（ ）内で正しい言葉を補うことにした。

第五　正しい努力に関係づけられた経典（サンマッパダーナ・サンユッタ）

第一　ガンガー復誦

【一】第一　東（一）

一―一　サーヴァッティ（すべてのものがある）。そこで実に、世尊はこう演説なさった。

「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つの正しい努力がある。四つとは何であろうか。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

四　生じた種々の悪不善の法則を捨断（しゃだん）するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つの正しい努力である」と。

八　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、ガンガー（大変速い河）河は東に下り、東に傾斜し、東に至る。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい

努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのであろうか。

九　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正

しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである」と。

【二】第二　東（二）

八　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、ヤムナー（双子の河）河は東に下り、東に傾斜し、東に至る。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのであろうか。

九　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の

悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである」と。

【三】第三　東（三）

八　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、アチーラヴァティー（すぐ必要とされる河）河は東に下り、東に傾斜し、東に至る。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのであろうか。

九　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進

に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである」と。

【四】第四　東（四）

八　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、サラブー（沼地の存在）河は東に下

り、東に傾斜し、東に至る。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのであろうか。

九　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである」と。

【五】第五　東（五）

八　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、マヒー（大地の河）河は東に下り、東に傾斜し、東に至る。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのであろうか。

九　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである」と。

【六】第六　東（六）

八　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、種々の大きな河がある。つまり、ガンガー、ヤムナー、アチーラヴァティー、サラブー、マヒーである。それらはすべて東に下り、東に傾斜し、東に至る。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい

努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのであろうか。

九　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正

しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである」と。

【七】第七　海（一）

八　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、ガンガー河は海に下り、海に傾斜し、海に至る。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのであろうか。

九　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の

悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである」と。

【八】第八　海（二）

八　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、ヤムナー河は海に下り、海に傾斜し、海に至る。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのであろうか。

九　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである」と。

【九】第九　海（三）

八　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、アチーラヴァティー河は海に下り、海に傾斜し、海に至る。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学

男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのであろうか。

九　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充

実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである」と。

【一〇】第十　海（四）

八　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、サラブー河は海に下り、海に傾斜し、海に至る。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい

努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのであろうか。

九　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正

しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである」と。

【一二】第十一　海（五）

八　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、マヒー河は海に下り、海に傾斜し、海に至る。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのであろうか。

九　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の

悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである」と。

【一二】第十二　海（六）

八　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、種々の大きな河がある。つまり、ガンガー、ヤムナー、アチーラヴァティー、サラブー、マヒーである。それらはすべて海に下り、海に傾斜し、海に至る。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのであろうか。

九　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである」と。

［経群］

東に下ることにより六つ、
そして海に下ることにより六つ、
これら二つが六つあって十二になり、
品（ほん）はそれによって著しく言われると。

正しい努力に関係づけられた経典のガンガー復誦は、正しい努力によって詳しくされるべき品である。

第二　怠惰でないこと品

【一三】第一　真理勝者

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、種々の生命体で、あるいは足のないもの、あるいは二本足のもの、あるいは四本足のもの、あるいは数多くの足があるもの、あるいは形状・容姿を持つもの、あるいは形状・容姿を持たないもの、あるいは認知を持つもの、あるいは認知を持たないもの、あるいは非認知を持ち非非認知を持つものについては、供養値魂（くようちこん）・最上正覚者（さいじょうしょうかくしゃ）であられる真理勝者（しんりしょうしゃ）が、それらの最上であると言明される。

向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、善の法則はどんなものもすべて、怠惰でないことによってもたらされ、怠惰でないことに一致し、怠惰でないことはそれらの法則の最上であると言明されるのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、怠惰でない向煩悩滅尽多学男には、四つの正しい

努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なう、これが望まれるべきである。向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな怠惰でない向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、怠惰でない向煩悩滅尽多学男は、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのである」と。

【一四】第二　足跡

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、種々の動くことのできる生き物の生じた足跡はどんなものもすべて、象の足跡の中に兼ね備わるのであり、象の足跡が、それらの最上であると言明される。すなわち、偉大だからである。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、善の法則はどんなものもすべて、怠惰でないことによってもたらされ、怠惰でないことに一致し、怠惰でないことはそれらの法則の最上であると言明されるのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、怠惰でない向煩悩滅尽多学男には、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なう、これが望まれるべきである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな怠惰でない向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力ずる。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、怠惰でない向煩悩滅尽多学男は、四

つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのである」と。

【一五】第三　屋根

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、家の屋根の梁（はり）はどんなものもすべて、屋根に至り、屋根に下り、屋根に一致するのであり、屋根がそれらの最上であると言明される。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、善の法則はどんなものもすべて、怠惰でないことによってもたらされ、怠惰でないことに一致し、怠惰でないことはそれらの法則の最上であると言明されるのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、怠惰でない向煩悩滅尽多学男には、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なう、これが望まれるべきである。向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな怠惰でない向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、怠惰でない向煩悩滅尽多学男は、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのである」と。

【一六】第四　根

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、根の香りはどんなものも、この黒みがかった芳香性のビャクダンが、それらの最上であると言明される。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、善の法則はどんなものもすべて、怠惰でないことによってもたらされ、怠惰でないことに一致し、怠惰でないことはそれらの法則の最上であると言明されるのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、怠惰でない向煩悩滅尽多学男には、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なう、これが望まれるべきである。向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな怠惰でない向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、怠惰でない向煩悩滅尽多学男は、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのである」と。

【一七】第五　心材

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、心材の香りはどんなものも、赤ビャ

クダンがそれらの最上であると言明される。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、善の法則はどんなものもすべて、怠惰でないことによってもたらされ、怠惰でないことに一致し、怠惰でないことはそれらの法則の最上であると言明されるのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、怠惰でない向煩悩滅尽多学男には、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なう、これが望まれるべきである。向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな怠惰でない向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、怠惰でない向煩悩滅尽多学男は、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのである」と。

【一八】第六　マツリカ

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、花の香りはどんなものも、マツリカがそれらの最上であると言明される。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、善の法則はどんなものもすべて、怠惰でないことによってもたらされ、怠惰でない

ことに一致し、怠惰でないことはそれらの法則の最上であると言明されるのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、怠惰でない向煩悩滅尽多学男には、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なう、これが望まれるべきである。向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな怠惰でない向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、怠惰でない向煩悩滅尽多学男は、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのである」と。

【一九】第七　王子

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、支配されている王子はどんな人もすべて、転輪王（てんりんおう）の家来であり、転輪王がそれらの最上であると言明される。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、善の法則はどんなものもすべて、怠惰でないことによってもたらされ、怠惰でないことに一致し、怠惰でないことはそれらの法則の最上であると言明されるのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、怠惰でない向煩悩滅尽多学男には、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なう、これが望まれるべきである。向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな怠惰でない向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心

を引き締め努力する。

五　向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、怠惰でない向煩悩滅尽多学男は、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのである」と。

【二〇】第八　月

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、種々の星の光はどんなものもすべて、月の光の十六分の一にも値しないのであり、月の光がそれらの最上であると言明される。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、善の法則はどんなものもすべて、怠惰でないことによってもたらされ、怠惰でないことに一致し、怠惰でないことはそれらの法則の最上であると言明されるのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、怠惰でない向煩悩滅尽多学男には、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なう、これが望まれるべきである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな怠惰でない向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、怠惰でない向煩悩滅尽多学男は、四

つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのである」と。

【二一】第九　太陽

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、秋の時の突き通され、雲の消滅した天空で、太陽は上空の上方に出、空に達し、闇に至るすべてを滅ぼして、そして照り、そして燃焼し、そしてきらきら輝く。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、善の法則はどんなものもすべて、怠惰でないことによってもたらされ、怠惰でないことに一致し、怠惰でないことはそれらの法則の最上であると言明されるのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、怠惰でない向煩悩滅尽多学男には、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なう、これが望まれるべきである。向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな怠惰でない向煩悩滅尽多学男が、四つ

の正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、怠惰でない向煩悩滅尽多学男は、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのである」と。

【二二】第十　衣服

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、種々の織物の衣服にはどんなものも、カーシ（太陽）国産の衣服がそれらの最上であると言明される。向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、善の法則はどんなものもすべて、怠惰でないことによってもたらされ、怠惰でないことに一致し、怠惰でないことはそれらの法則の最上であると言明されるのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、怠惰でない向煩悩滅尽多学男には、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なう、これが望まれるべきである。向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな怠惰でない向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、怠惰でない向煩悩滅尽多学男は、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのである」と。

真理勝者、足跡、屋根、

根、心材によって、マツリカ、

王子、月、太陽、
衣服によって第十の手段がある。

怠惰でないこと品は、正しい努力によって詳しくされるべき品である。

第三　力でなすべきこと品

【二三】第一　力

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、力でなすべき仕事がなされるのはどんなものもすべて、大地によって大地に確立するのであって、まさにこのように、それらの力でなすべき仕事はなされる。

向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は、戒によって戒を確立して、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、戒によって戒を確立して、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の

悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は、戒によって戒を確立して、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのである」と。

【二四】第二　種子

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、種々の草木の種子の群が発達し成長し充実するようになるのはどんなものもすべて、それらは大地によって大地に確立するのであって、このように、これらの草木の種子の群は発達し成長し充実するようになる。

向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は、戒によって戒を確立して、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、種々の法則において、発達し成長し充実するのを得るのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、戒によって戒を確立して、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、種々の法則において、発達し成長し充実するのを得るのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の

悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は、戒によって戒を確立して、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、種々の法則において、発達し成長し充実するのを得るのである」と。

【二五】第三　龍

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、龍たちは山の王・雪山によって、身を発達させて力を持つ。そこで、彼らは身を発達させて力を持って、小さな池に降りる。小さな池に降りて、大きな池に降りる。大きな池に降りて、小さな河に降りる。小さな河に降りて、大きな河に降りる。大きな河に降りて、大海や大洋に降りる。そこで、彼らは身が大きくなり、充実するようになる。

向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は、戒によって戒を確立して、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、種々の法則において大きくなり、充実するのを得るのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、戒によって戒を確立して、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、種々の法則において大きくなり、充実するのを得るのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の

悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は、戒によって戒を確立して、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、種々の法則において大きくなり、充実するのを得るのである」と。

【二六】第四　樹木

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、樹木が東に下り、東に傾斜し、東に至り、それが根において切られたならば、どちらに倒れることによって崩れ落ちるであろうか」と。

「尊師よ、下っている所へであり、傾斜している所へであり、至る所へであります」と。

「向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の

悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、煩悩破壊に下り、煩悩破壊に傾斜し、煩悩破壊に至るのである」と。

【二七】第五　かめ

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、かめは打ち倒されて、まさに水を放棄し、注ぎ出すことに逆らうことはない。

向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、まさに種々の悪不善の法則を放棄し、注ぎ出すことに逆らうことはないのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、まさに種々の悪不善の法則を放棄し、注ぎ出すことに逆らうことはないのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精

進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、まさに種々の悪不善の法則を放棄し、注ぎ出すことに逆らうことはないのである」と。

【二八】第六　穂先

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、米の穂先やあるいは小麦の穂先が正

しく精神集中され、手やあるいは足で踏みつけられたことによって、手やあるいは足に裂け口が生じ、あるいは血を生じさせると、この道理は存在する。これはどうしてか。向煩悩滅尽多学男たちよ、穂先の正しい精神集中の本質だからである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男が正しく精神集中した正しい努力の修習によって、非神秘力に裂け口が生じ、神秘力を生じさせ、煩悩破壊を現証（げんしょう）すると、この道理は存在する。これはどうしてか。向煩悩滅尽多学男たちよ、見解の正しい精神集中の本質だからである。

三 向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が正しく精神集中した見解によって、正しく精神集中した正しい努力の修習によって、非神秘力に裂け口が生じ、神秘力を生じさせ、煩悩破壊を現証するのであろうか。

四 向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を

引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は正しく精神集中した見解によって、正しく精神集中した正しい努力の修習によって、非神秘力に裂け口が生じ、神秘力を生じさせ、煩悩破壊を現証するのである」と。

【二九】第七　空（そら）

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、空（そら）には様々な風が吹く。同様に種々の東の風が吹き、同様に種々の西の風が吹き、同様に種々の北の風が吹き、同様に種々の南の風が吹き、同様に種々の塵（ちり）を持っている風が吹き、同様に種々の塵のない風が吹き、同様に種々の涼しい風が吹き、同様に種々の熱い風が吹き、同様に種々のかすかな風が吹き、同様に種々の甚だしい風が吹く。

向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男が四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、同様に四つの記憶修習の現象化の修習は完全に広がり、同様に四つの如意の基礎の修習は完全に広がり、同様に五つの潜在性の修習は完全に広がり、同様に五つの能力の修習は完全に広がり、同様に七つの覚醒段階の修習は完全に広がり、同様に聖なる八段階の道の修習は完全に広がるのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正し

い努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、同様に四つの記憶修習の現象化、同様に四つの如意の基礎、同様に五つの潜在性、同様に五つの能力、同様に七つの覚醒段階、同様に聖なる八段階の道の修習が完全に広がるのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、

心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、同様に四つの記憶修習の現象化、同様に四つの如意の基礎、同様に五つの潜在性、同様に五つの能力、同様に七つの覚醒段階、同様に聖なる八段階の道の修習が完全に広がるのである」と。

【三〇】第八　雷雲（一）

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、種々の夏の最後の月において、上昇した塵やほこりは、すぐに大きな時期外れの雷雲が、必然的に消滅させ、静止させる。

向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力

を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、生じる度に種々の悪不善の法則を、必然的に消滅させ、静止させる。

三　さて、向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、生じる度に種々の悪不善の法則を、必然的に消滅させ、静止させるのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、

充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、生じる度に種々の悪不善の法則を、必然的に消滅させ、静止させるのである」と。

【三一】第九　雷雲（二）

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、生じた大きな雲を、すぐに大きい風はまさにそうこうしているうちに消滅させ、静止させる。

向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、生じる度に種々の悪不善の法則を、まさにそうこうしているうちに消滅させ、静止させるのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、生じる度に種々の悪不善の法則を、まさにそうこうしているうちに消滅させ、静止させるのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、

心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、生じる度に種々の悪不善の法則を、まさにそうこうしているうちに消滅させ、静止させるのである」と。

【三二】第十　ボート

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、棒を縄で縛った海上旅行のボートが、六カ月水上を船旅をし、冬の間に乾いた土地に引っ張り上げられたとき、風と熱暑に打ちひしがれたそれらの縄は、雷雲の雨が降ることによって雨を降らせて、まさに全く困難なく緩められ粗悪になる。

向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男が四つの正しい努力

を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、種々のきずなはまさに全く困難なく緩められ粗悪になるのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、種々のきずなはまさに全く困難なく緩められ粗悪になるのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、

充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、種々のきずなはまさに全く困難なく緩められ粗悪になるのである」と。

【三三】第十一　滞在客

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、滞在客用の会館があり、そこでは、同様に東の方角から来て宿泊し、同様に西の方角から来て宿泊し、同様に北の方角から来て宿泊し、同様に南の方角から来て宿泊し、同様に武人階級が来て宿泊し、同様に祭司階級が来て宿泊し、同様に庶民階級が来て宿泊し、同様に奴隷階級が来て宿泊する。

向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、向煩悩滅尽多学男は、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、証智（しょうち）して理解できる種々の法則を証智して理解し、証智して捨断できる種々の法則を証智して捨断し、証智して現証できる種々の法則を証智して現証し、証智して修習できる種々の法則を証智して修習するのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、証智して理解できる種々の法則とは何であろうか。それは、五つのとらわれの集積であると発言できる。

五つとは何であろうか。つまり、形状-容姿のとらわれの集積・感覚のとらわれの集積・表象のとらわれの集積・経験の構成のとらわれの集積・識別のとらわれの集積である。向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれらの法則が証智して理解できるのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、証智して捨断できる種々の法則とは何であろうか。非神秘力と生存渇愛（せいぞんかつあい）とである。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらの法則

が証智して捨断できるのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、証智して現証できる種々の法則とは何であろうか。神秘力と離解脱(りげだつ)とである。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらの法則が証智して現証できるのである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、証智して修習できる種々の法則とは何であろうか。寂止(じゃくし)と正観(せいかん)とである。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらの法則が証智して修習できるのである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、証智して理解できる種々の法則を証智して理解し、証智して捨断できる種々の法則を証智して捨断し、証智して現証できる種々の法則を証智して現証し、証智して修習できる種々の法則を証智して修習するのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の

悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、証智して理解できる種々の法則を証智して理解し、証智して捨断できる種々の法則を証智して捨断し、証智して現証できる種々の法則を証智して現証し、証智して修習でき

る種々の法則を証智して修習するのである」と。

【三四】第十二　河

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、例として、ガンガー河は東に下り、東に傾斜し、東に至るのだが、それで多くの人々の集まりが来て、シャベルとざるとを持って、『我々は、このガンガー河を西に下り、西に傾斜し、西に至るものにしよう』と。向煩悩滅尽多学男たちよ、これについてどう思うか。実は同一に、その多くの人々の集まりは、ガンガー河を西に下り、西に傾斜し、西に至るものにすることができるだろうか」と。

「尊師よ、そのようなことはありません。」

「これはどうしてか。」

「尊師よ、ガンガー河は東に下り、東に傾斜し、東に至っております。西に下り、

西に傾斜し、西に至るものにするには、それはたやすくありません。したがって、その多くの人々の集まりは、極限に疲労と苦悩を帯びていることとなるでしょう」と。

三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、全く同様に、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なっている向煩悩滅尽多学男を、国王たちや宰相たちや友たちや信頼できる顧問たちや親族たちや親類たちは、種々の楽しみを使って思い出させて、誘惑しようとする。

『来なさい。いいかい、男よ、これらの赤っぽい黄色の衣はあなたの何を夢中にさせているのだ。つるつるになり、托鉢用の鉢のために歩き回って、何の意味があろうか。来なさい。還俗して、種々の楽しみを楽しく味わって、種々の功徳を積みなさい』と。

向煩悩滅尽多学男たちよ、確かに、その向煩悩滅尽多学男が四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうことによって、教えに拒絶反応を

起こして還卑すると、この道理は存在しない。これはどうしてか。向煩悩滅尽多学男たちよ、というのは、長い間、その心が遠離に下り、遠離に傾斜し、遠離に至る者が確かに還卑すると、この道理は存在しないからである。

向煩悩滅尽多学男たちよ、そして、どんな向煩悩滅尽多学男が、四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのであろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、

充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、このように実に、向煩悩滅尽多学男は四つの正しい努力を修習し、四つの正しい努力を真面目に行なうのである」と。

［経群］

力、種子と、龍と、
樹木、かめによって、太陽（穂先により）、
空（そら）によって、二つの雷雲、
ボート、滞在客により、河。

このように力でなすべきこと品は、正しい努力によって詳しくされるべきである。

第四　願望の基準

【三五】第一　願望

（I　証智）

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの願望がある。三つとは何であろうか。愛欲願望・生存願望・神聖行願望である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの願望である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの願望の証智のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精

進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ　実にこれら三つの願望の証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの願望がある。三つとは何であろうか。愛欲願望・生存願望・神聖行願望である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの願望である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの願望の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの願望の理解のために、これら

四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの願望がある。三つとは何であろうか。愛欲願望・生存願望・神聖行願望である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの願望である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの願望の完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの願望の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの願望がある。三つとは何であろうか。愛欲願望・生存願望・神聖行願望である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの願望である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの願望の捨断のために、四つの

正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの願望の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【三六】第二　性質

（I　証智）

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの性質がある。三つとは何であろうか。『わたしは優れている』という性質と、『わたしは同じである』という性質と、『わたしは劣っている』という性質である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの性質である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの性質の証智のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの性質の証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの性質がある。三つとは何であろうか。『わたしは優れている』という性質と、『わたしは同じである』という性質と、『わたしは劣っている』という性質である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの性質である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの性質の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの性質の理解のために、これら

四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの性質がある。三つとは何であろうか。『わたしは優れている』という性質と、『わたしは同じである』という性質と、『わたしは劣っている』という性質である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの性質である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの性質の完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、

精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの性質の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの性質がある。三つとは何であろうか。『わたしは優れている』という性質と、『わたしは同じである』という性質と、『わたしは劣っている』という性質である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これ

らが実に三つの性質である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの性質の捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの性質の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【三七】第三　漏

（I　証智）

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの漏がある。三つとは何であろうか。愛欲漏・生存漏・非神秘力漏である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの漏である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの漏の証智のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を

引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの漏の証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの漏がある。三つとは何であろうか。

愛欲漏・生存漏・非神秘力漏である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの漏である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの漏の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、

心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの漏の理解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの漏がある。三つとは何であろうか。愛欲漏・生存漏・非神秘力漏である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの漏である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの漏の完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの漏の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの漏がある。三つとは何であろうか。愛欲漏・生存漏・非神秘力漏である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実

に三つの漏である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの漏の捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの漏の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【三八】第四　生存

（I　証智）

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの生存がある。三つとは何であろうか。愛欲による生存・形状による生存・非形状による生存である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの生存である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの生存の証智のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を

引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの生存の証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの生存がある。三つとは何であろう

か。愛欲による生存・形状による生存・非形状による生存である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの生存である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの生存の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、

心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの生存の理解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの生存がある。三つとは何であろうか。愛欲による生存・形状による生存・非形状による生存である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの生存である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの生存の完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの生存の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの生存がある。三つとは何であろうか。愛欲による生存・形状による生存・非形状による生存である。向煩悩滅尽

多学男たちよ、これらが実に三つの生存である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの生存の捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの生存の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【三九】第五　三つの苦しみの本質

（I　証智）

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの苦しみの本質がある。三つとは何であろうか。苦しみの苦しみの本質・悪い経験の構成の苦しみの本質・悪化の苦しみの本質である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの苦しみの本質である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの苦しみの本質の証智のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の

悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの苦しみの本質の証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの苦しみの本質がある。三つとは何であろうか。苦しみの苦しみの本質・悪い経験の構成の苦しみの本質・悪化の苦しみの本質である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの苦しみの本質である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの苦しみの本質の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、

精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの苦しみの本質の理解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの苦しみの本質がある。三つとは何であろうか。苦しみの苦しみの本質・悪い経験の構成の苦しみの本質・悪化の苦しみの本質である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの苦しみの本質である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの苦しみの本質の完全な破壊の

ために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの苦しみの本質の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの苦しみの本質がある。三つとは何であろうか。苦しみの苦しみの本質・悪い経験の構成の苦しみの本質・悪化の苦しみの本質である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの苦しみの本質である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの苦しみの本質の捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、

精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの苦しみの本質の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【四〇】第六　妨害

（I　証智）

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの妨害がある。三つとは何であろうか。愛著（あいじゃく）は妨害であり、邪悪心（じゃあくしん）は妨害であり、迷妄（めいもう）は妨害である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの妨害である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの妨害の証智のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの妨害の証智のために、これら四

つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの妨害がある。三つとは何であろうか。愛著は妨害であり、邪悪心は妨害であり、迷妄は妨害である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの妨害である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの妨害の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの妨害の理解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの妨害がある。三つとは何であろうか。愛著は妨害であり、邪悪心は妨害であり、迷妄は妨害である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの妨害である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの妨害の完全な破壊のために、

四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの妨害の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの妨害がある。三つとは何であろうか。愛著は妨害であり、邪悪心は妨害であり、迷妄は妨害である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの妨害である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの妨害の捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの妨害の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【四二】第七　垢

（Ⅰ　証智）

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの垢（あか）がある。三つとは何であろうか。愛著は垢であり、邪悪心は垢であり、迷妄は垢である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの垢である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの垢の証智のために、四つの正し

い努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの垢の証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（II　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの垢がある。三つとは何であろうか。愛著は垢であり、邪悪心は垢であり、迷妄は垢である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの垢である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの垢の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの垢の理解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの垢がある。三つとは何であろうか。愛著は垢であり、邪悪心は垢であり、迷妄は垢である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの垢である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの垢の完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々

の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの垢の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの垢がある。三つとは何であろうか。愛著は垢であり、邪悪心は垢であり、迷妄は垢である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの垢である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの垢の捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの垢の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【四二】第八　錯乱

（Ⅰ　証智）

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの錯乱がある。三つとは何であろうか。愛著は錯乱であり、邪悪心は錯乱であり、迷妄は錯乱である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの錯乱である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの錯乱の証智のために、四つの正

しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの錯乱の証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの錯乱がある。三つとは何であろうか。愛著は錯乱であり、邪悪心は錯乱であり、迷妄は錯乱である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの錯乱である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの錯乱の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの錯乱の理解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの錯乱がある。三つとは何であろうか。愛著は錯乱であり、邪悪心は錯乱であり、迷妄は錯乱である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの錯乱である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの錯乱の完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々

の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの錯乱の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの錯乱がある。三つとは何であろうか。愛著は錯乱であり、邪悪心は錯乱であり、迷妄は錯乱である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの錯乱である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの錯乱の捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの錯乱の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【四三】第九　感覚

（I　証智）

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの感覚がある。三つとは何であろうか。楽の感覚・苦しみの感覚・不苦不楽の感覚である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの感覚である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの感覚の証智のために、四つの正

しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの感覚の証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの感覚がある。三つとは何であろうか。楽の感覚・苦しみの感覚・不苦不楽の感覚である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの感覚である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの感覚の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの感覚の理解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの感覚がある。三つとは何であろうか。楽の感覚・苦しみの感覚・不苦不楽の感覚である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの感覚である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの感覚の完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々

の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの感覚の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの感覚がある。三つとは何であろうか。楽の感覚・苦しみの感覚・不苦不楽の感覚である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの感覚である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの感覚の捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの感覚の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【四四】第十　渇愛

（I　証智）

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの渇愛（かつあい）がある。三つとは何であろうか。愛欲渇愛・生存渇愛・離生存（りせいぞん）渇愛である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの渇愛である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの渇愛の証智のために、四つの正

しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの渇愛の証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの渇愛がある。三つとは何であろうか。愛欲渇愛・生存渇愛・離生存渇愛である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの渇愛である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの渇愛の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの渇愛の理解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの渇愛がある。三つとは何であろうか。愛欲渇愛・生存渇愛・離生存渇愛である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの渇愛である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの渇愛の完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々

の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの渇愛の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら三つの渇愛がある。三つとは何であろうか。愛欲渇愛・生存渇愛・離生存渇愛である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に三つの渇愛である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの渇愛の捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら三つの渇愛の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

願望、性質、漏、三つの苦しみの本質と、
妨害、垢と、錯乱と、感覚、渇愛によってと。

願望品は正しい努力によって詳しくされるべき品である。

第五　氾濫品

【四五】第一　氾濫

（I　証智）

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つの氾濫（はんらん）がある。四つとは何であろうか。愛欲氾濫・生存氾濫・謬見（びゅうけん）氾濫・非神秘力氾濫である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つの氾濫である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの氾濫の証智のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精

進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの氾濫の証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つの氾濫がある。四つとは何であろうか。愛欲氾濫・生存氾濫・謬見氾濫・非神秘力氾濫である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つの氾濫である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの氾濫の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの氾濫の理解のために、これら

四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つの氾濫がある。四つとは何であろうか。愛欲氾濫・生存氾濫・謬見氾濫・非神秘力氾濫である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つの氾濫である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの氾濫の完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの氾濫の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つの氾濫がある。四つとは何であろうか。愛欲氾濫・生存氾濫・謬見氾濫・非神秘力氾濫である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つの氾濫である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの氾濫の捨断のために、四つの

正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの氾濫の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【四六】第二　鎖つきの首輪

（I　証智）

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つの鎖つきの首輪がある。四つとは何であろうか。愛欲の鎖つきの首輪・生存の鎖つきの首輪・謬見の鎖つきの首輪・非神秘力の鎖つきの首輪である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つの鎖つきの首輪である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの鎖つきの首輪の証智のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの鎖つきの首輪の証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（II　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つの鎖つきの首輪がある。四つとは何であろうか。愛欲の鎖つきの首輪・生存の鎖つきの首輪・謬見の鎖つきの首輪・非神秘力の鎖つきの首輪である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つの鎖つきの首輪である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの鎖つきの首輪の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの鎖つきの首輪の理解のために、

これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つの鎖つきの首輪がある。四つとは何であろうか。愛欲の鎖つきの首輪・生存の鎖つきの首輪・謬見の鎖つきの首輪・非神秘力の鎖つきの首輪である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つの鎖つきの首輪である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの鎖つきの首輪の完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、

精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの鎖つきの首輪の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つの鎖つきの首輪がある。四つとは何であろうか。愛欲の鎖つきの首輪・生存の鎖つきの首輪・謬見の鎖つきの首輪・非神秘力の鎖つきの首輪である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つの

鎖つきの首輪である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの鎖つきの首輪の捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの鎖つきの首輪の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【四七】第三　とらわれ

（I　証智）

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つのとらわれがある。四つとは何であろうか。愛欲のとらわれ・謬見のとらわれ・戒誓（かいせい）のとらわれ・自己の教義のとらわれである。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つのとらわれである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つのとらわれの証智のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を

引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つのとらわれの証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つのとらわれがある。四つとは何であ

ろうか。愛欲のとらわれ・謬見のとらわれ・戒誓のとらわれ・自己の教義のとらわれである。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つのとらわれである。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つのとらわれの理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、

心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つのとらわれの理解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つのとらわれがある。四つとは何であろうか。愛欲のとらわれ・謬見のとらわれ・戒誓のとらわれ・自己の教義のとらわれである。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つのとらわれである。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つのとらわれの完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つのとらわれの完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つのとらわれがある。四つとは何であろうか。愛欲のとらわれ・謬見のとらわれ・戒誓のとらわれ・自己の教義のと

らわれである。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つのとらわれである。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つのとらわれの捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つのとらわれの捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【四八】第四　種々の束縛

（I　証智）

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つの束縛がある。四つとは何であろうか。渇望は身の束縛であり、害心は身の束縛であり、戒誓のとらわれは身の束縛であり、これぞ絶対の真理と執着することは身の束縛である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つの束縛である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの束縛の証智のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の

悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの束縛の証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つの束縛がある。四つとは何であろうか。渇望は身の束縛であり、害心は身の束縛であり、戒誓のとらわれは身の束縛であり、これぞ絶対の真理と執着することは身の束縛である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つの束縛である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの束縛の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、

精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの束縛の理解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つの束縛がある。四つとは何であろうか。渇望は身の束縛であり、害心は身の束縛であり、戒誓のとらわれは身の束縛であり、これぞ絶対の真理と執着することは身の束縛である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つの束縛である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの束縛の完全な破壊のために、

四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの束縛の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら四つの束縛がある。四つとは何であろうか。渇望は身の束縛であり、害心は身の束縛であり、戒誓のとらわれは身の束縛であり、これぞ絶対の真理と執着することは身の束縛である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に四つの束縛である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの束縛の捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、

精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら四つの束縛の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【四九】第五　性癖

（I　証智）

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら七つの性癖がある。七つとは何であろうか。愛欲愛著の性癖・嫌悪の性癖・謬見の性癖・疑念の性癖・慢の性癖・生存愛著の性癖・非神秘力の性癖である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に七つ

の性癖である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら七つの性癖の証智のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら七つの性癖の証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（II　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら七つの性癖がある。七つとは何であろうか。愛欲愛著の性癖・嫌悪の性癖・謬見の性癖・疑念の性癖・慢の性癖・生存愛著の性癖・非神秘力の性癖である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に七つの性癖である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら七つの性癖の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら七つの性癖の理解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら七つの性癖がある。七つとは何であろうか。愛欲愛著の性癖・嫌悪の性癖・謬見の性癖・疑念の性癖・慢の性癖・生存

愛著の性癖・非神秘力の性癖である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に七つの性癖である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら七つの性癖の完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、

心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら七つの性癖の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら七つの性癖がある。七つとは何であろうか。愛欲愛著の性癖・嫌悪の性癖・謬見の性癖・疑念の性癖・慢の性癖・生存愛著の性癖・非神秘力の性癖である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に七つの性癖である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら七つの性癖の捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心

を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら七つの性癖の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【五〇】第六　愛欲の構成部分

（Ⅰ　証智）

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの愛欲の構成部分がある。五つとは何であろうか。眼によって識別される種々の形状・容姿は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、耳によって識別される種々の声は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、鼻によって識別される種々の香りは、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、舌によって識別される種々の味は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、身によって識別される種々の接触は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することである。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの愛欲の構成部分である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの愛欲の構成部分の証智のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの愛欲の構成部分の証智のために、

これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（II　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの愛欲の構成部分がある。五つとは何であろうか。眼によって識別される種々の形状・容姿は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、耳によって識別される種々の声は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、鼻によって識別される種々の香りは、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、舌によって識別される種々の味は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、身によって識別される種々の接触は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することである。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの愛欲の構成

部分である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの愛欲の構成部分の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの愛欲の構成部分の理解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの愛欲の構成部分がある。五つとは何であろうか。眼によって識別される種々の形状・容姿は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、耳によって識別される種々の声は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、鼻によって識別される種々の香りは、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、舌によって識別される種々の味は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、身によって識別される種々の接触は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・

欲求することである。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの愛欲の構成部分である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの愛欲の構成部分の完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、

心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの愛欲の構成部分の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの愛欲の構成部分がある。五つとは何であろうか。眼によって識別される種々の形状・容姿は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、耳によって識別される種々の声は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、鼻によって識別される種々の香りは、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、舌によって識別される種々の味は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することであり、身によって識別される種々

の接触は、希望したこと・楽しむこと・愉快なこと・喜ぶこと・愛着すること・欲求することである。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの愛欲の構成部分である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの愛欲の構成部分の捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、

充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの愛欲の構成部分の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【五二】第七　障害

（I　証智）

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの障害がある。五つとは何であろうか。愛欲の衝動による障害・害心による障害・頑固と愚鈍による障害・興奮と後悔（エネルギー不足）による障害・疑念による障害である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの障害である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの障害の証智のために、四つの正

しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの障害の証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの障害がある。五つとは何であろうか。愛欲の衝動による障害・害心による障害・頑固と愚鈍による障害・興奮と後悔（エネルギー不足）による障害・疑念による障害である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの障害である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの障害の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、

精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの障害の理解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの障害がある。五つとは何であろうか。愛欲の衝動による障害・害心による障害・頑固と愚鈍による障害・興奮と後悔（エネルギー不足）による障害・疑念による障害である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの障害である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの障害の完全な破壊のために、

四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの障害の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの障害がある。五つとは何であろうか。愛欲の衝動による障害・害心による障害・頑固と愚鈍による障害・興奮と後悔（エネルギー不足）による障害・疑念による障害である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの障害である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの障害の捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、

精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの障害の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【五二】第八　集積

（I　証智）

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つのとらわれの集積がある。五つとは何であろうか。つまり、形状-容姿のとらわれの集積・感覚のとらわれの集積・表象のとらわれの集積・経験の構成のとらわれの集積・識別のとらわれの集積で

ある。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つのとらわれの集積である。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つのとらわれの集積の証智のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つのとらわれの集積の証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つのとらわれの集積がある。五つとは何であろうか。つまり、形状・容姿のとらわれの集積・感覚のとらわれの集積・表象のとらわれの集積・経験の構成のとらわれの集積・識別のとらわれの集積である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つのとらわれの集積である。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つのとらわれの集積の理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つのとらわれの集積の理解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つのとらわれの集積がある。五つとは何であろうか。つまり、形状-容姿のとらわれの集積・感覚のとらわれの集積・

表象のとらわれの集積・経験の構成のとらわれの集積・識別のとらわれの集積である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つのとらわれの集積である。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つのとらわれの集積の完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、

心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つのとらわれの集積の完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つのとらわれの集積がある。五つとは何であろうか。つまり、形状-容姿のとらわれの集積・感覚のとらわれの集積・表象のとらわれの集積・経験の構成のとらわれの集積・識別のとらわれの集積である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つのとらわれの集積である。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つのとらわれの集積の捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心

を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つのとらわれの集積の捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【五三】第九　下位に結びつける

（I　証智）

二　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの下位に結びつけるきずながある。五つとは何であろうか。有身謬見（うしんびゅうけん）・疑念・戒誓のとらわれ・愛欲の衝動・害心である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの下位に結びつけるきずなである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの下位に結びつけるきずなの証智のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの下位に結びつけるきずなの証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの下位に結びつけるきずながある。五つとは何であろうか。有身謬見・疑念・戒誓のとらわれ・愛欲の衝動・害心である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの下位に結びつけるきずなである。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの下位に結びつけるきずなの理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの下位に結びつけるきずなの理

解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの下位に結びつけるきずながある。五つとは何であろうか。有身謬見・疑念・戒誓のとらわれ・愛欲の衝動・害心である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの下位に結びつけるきずなである。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの下位に結びつけるきずなの完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの下位に結びつけるきずなの完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの下位に結びつけるきずながある。五つとは何であろうか。有身謬見・疑念・戒誓のとらわれ・愛欲の衝動・害心であ

る。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの下位に結びつけるきずなである。

二四　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの下位に結びつけるきずなの捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの下位に結びつけるきずなの捨断のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

【五四】第十　上位に結びつける

（Ⅰ　証智）

二「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの上位に結びつけるきずながある。五つとは何であろうか。形状愛著・非形状愛著・慢・興奮・非神秘力である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの上位に結びつけるきずなである。

三　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの上位に結びつけるきずなの証智のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

四　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を

引き締め努力する。

五　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

六　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

七　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

八　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの上位に結びつけるきずなの証智のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅱ　理解）

九　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの上位に結びつけるきずながある。

五つとは何であろうか。形状愛著・非形状愛著・慢・興奮・非神秘力である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの上位に結びつけるきずなである。

一〇　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの上位に結びつけるきずなの理解のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一一　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一二　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一三　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

一四　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、

心を引き締め努力する。

一五　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの上位に結びつけるきずなの理解のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅲ　完全な破壊）

一六　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの上位に結びつけるきずながある。五つとは何であろうか。形状愛著・非形状愛著・慢・興奮・非神秘力である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの上位に結びつけるきずなである。

一七　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの上位に結びつけるきずなの完全な破壊のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

一八　向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心

を引き締め努力する。

一九　生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二〇　生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二一　生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二二　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの上位に結びつけるきずなの完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

（Ⅳ　捨断）

二三　「向煩悩滅尽多学男たちよ、これら五つの上位に結びつけるきずながある。

五つとは何であろうか。形状愛著・非形状愛著・慢・興奮・非神秘力である。向煩悩滅尽多学男たちよ、これらが実に五つの上位に結びつけるきずなである。

二四 向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの上位に結びつけるきずなの捨断のために、四つの正しい努力が修習されるべきである。四つとは何であろうか。

二五 向煩悩滅尽多学男たちよ、ここに向煩悩滅尽多学男は、生じていない種々の悪不善の法則が生じないように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二六 生じた種々の悪不善の法則を捨断するために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二七 生じていない種々の善の法則が生じるように、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、心を引き締め努力する。

二八 生じた種々の善の法則を集中継続し、混乱することなく、さらに多く学び、充実し、修習し、完全にするために、決意を作り出し、奮闘し、精進に着手し、

心を引き締め努力する。

二九　向煩悩滅尽多学男たちよ、実にこれら五つの上位に結びつけるきずなの完全な破壊のために、これら四つの正しい努力が修習されるべきである」と。

［経群］

氾濫、鎖つきの首輪、とらわれ、種々の束縛、性癖によってと、愛欲の構成部分、障害、集積、種々の下位と上位に結びつける。

氾濫品は正しい努力によって詳しくされるべきである。

第五　正しい努力に関係づけられた経典

※オウム真理教では、本来の意味を正確に表わしていない既製の仏教用語は用いず、パーリ語原典を忠実に翻訳し、吟味した結果、決定した訳語を使っています。以下に、代表的な言葉の対比表を掲げますので参照してください。また、仏教・ヨーガの言語対比表も参考までに掲載しました。

◆言語対比表

欲界→愛欲界
無間地獄→超期間激苦地獄
叫喚地獄→号叫激苦地獄
鉢特摩地獄→紅蓮華のような状態になる激苦地獄
餓鬼→低級霊

阿修羅→不飲酒天
憤怒天→意識堕落天
戯忘天→戯れ堕落天
地居天→地上愛欲神天
四天王衆天→四大王天
持国天→堅固王国天
増長天→成長天
広目天→統治変化自在天空天
毘沙門天、多聞天→守庶民外傷天
夜叉→人食い鬼神
忉利天→三十三天
帝釈天→有能神
夜摩天→支配流転双生児天
閻魔王→支配流転双生児王
兜率天→除冷淡天

楽変化天、化楽天→創造満足天

他化自在天→為他神以神通創造欲望満足従事天

悪魔→破滅天

色界→形状界

梵天→神聖天

梵衆天→神聖衆愛欲神天

梵輔天→神聖臣天

大梵天→大神聖天

浄天→美天

遍浄天→総美愛欲本質神天

広果天→偉大果報愛欲本質神天

浄居天→清潔居住天

無煩天→超空間愛欲神天

無熱天→超燃焼愛欲神天

善現天→善安楽愛欲神天

善見天→善現象愛欲神天

色究竟天→超越童子愛欲本質神天

無色界→非形状界

空無辺処→空間無辺境

識無辺処→識別無辺境

無所有処→無所有境

非想非非想処→非認知非非認知境

想受滅→認知経験滅尽

須弥山→完全無欠山
東勝身洲→東の高貴なる身体を得る大陸
南贍部洲、閻浮堤→南のバラリンゴの大陸
西牛貨洲→西の願いがかなう牛の大陸
北倶盧洲→北の悪しき音の大陸

成劫→再生期
住劫→継続期
壊劫→還元期

釈迦牟尼→サキャ神賢
如来→真理勝者
応供→供養値魂
正等覚→最上正覚者
明行足→智徳成就者

善逝→最上善逝
世間解→世間解（変更なし）
無上士→無上士（変更なし）
調御丈夫→丈夫調御者
天人師→天人師（変更なし）
仏陀→覚者
世尊→世尊（変更なし）

菩薩→到達真智運命魂
比丘→向煩悩滅尽多学男
比丘尼→向煩悩滅尽多学女
優婆塞→帰依信男
優婆夷→帰依信女
僧伽→出家教団
長老→高弟

声聞→多学の弟子
沙門→出家修行者
沙弥→少年出家者
遊行者→托鉢修行者

バラモン→祭司
クシャトリヤ→武人
ヴァイシャ→庶民
シュードラ→奴隷

四双八輩→四対の人々ー八つの宗教的特性を持つ人々
預流→真理の流れに入ること
一来→（愛欲界に）一度だけ再生すること
不還→不還（変更なし）

阿羅漢→供養値魂

四預流支→四つの真理の流れに入る段階

四聖諦→四つの聖なる絶対の真理
苦聖諦→苦しみの聖なる絶対の真理
集聖諦→苦しみの生起の聖なる絶対の真理
滅聖諦→苦しみの滅尽の聖なる絶対の真理
道聖諦→苦しみの滅尽に至る方法の聖なる絶対の真理

四念処→四つの記憶修習の現象化

四正断、四正勤→四つの正しい努力

四如意足、四神足→四つの如意の基礎

欲如意足→決意如意の基礎

精進如意足→精進如意の基礎

心如意足→思念如意の基礎

観如意足→観慧如意の基礎

五根→五つの潜在性

信根→信の潜在性

精進根→精進の潜在性

念根→記憶修習の潜在性

定根→サマディの潜在性

慧根→智慧の潜在性

五力→五つの能力

信力→信の能力

精進力→精進の能力

念力→記憶修習の能力

定力→サマディの能力

慧力→智慧の能力

七覚支→七つの覚醒段階

念覚支→記憶修習正覚段階

択法覚支→法則の検討正覚段階

精進覚支→精進正覚段階

喜覚支→喜正覚段階

軽安覚支→静寂正覚段階

定覚支→サマディ正覚段階

捨覚支→無頓着正覚段階

八正道→聖なる八段階の道
正見→正見解
正思惟→正思惟（変更なし）
正語→正語（変更なし）
正業→正行為
正命→正生活
正精進→正奮闘
正念→正記憶修習
正定→正サマディ

三苦→三つの苦しみの本質
苦苦→苦しみの苦しみの本質
行苦→悪い経験の構成の苦しみの本質
壊苦→悪化の苦しみの本質

三受→三つの感覚
楽受→楽の感覚
苦受→苦しみの感覚
不苦不楽受→不苦不楽の感覚

四無量心
慈→聖慈愛
悲→聖哀れみ
喜→聖称賛
捨→聖無頓着

五取蘊→五つのとらわれの集積
色取蘊→形状・容姿のとらわれの集積
受取蘊→感覚のとらわれの集積
想取蘊→表象のとらわれの集積

行取蘊→経験の構成のとらわれの集積
識取蘊→識別のとらわれの集積

五蓋→五つの障害
貪欲蓋→愛欲の衝動による障害
瞋恚蓋→害心による障害
惛眠蓋→頑固と愚鈍による障害
掉悔蓋→興奮と後悔による障害
疑蓋→疑念による障害

五妙欲→五つの愛欲の構成部分
色→形状・容姿
声→声
香→香り
味→味

触→接触

五下分結→五つの下位に結びつけるきずな
有身見→有身謬見
疑→疑念
戒禁取→戒誓のとらわれ
貪欲→愛欲の衝動
瞋恚→害心

五上分結→五つの上位に結びつけるきずな
色貪→形状愛著
無色貪→非形状愛著
慢→慢（変更なし）
掉挙→興奮
無明→非神秘力

八解脱→八つの離解脱
八勝処→八つの克服境
十遍処→十全境
十波羅蜜→十の徹底

十二縁起の法→十二の条件生起の段階
無明→非神秘力
行→経験の構成
識→識別
名色→心の要素-形状-容姿
六処→六つの感覚要素と対象
触→接触
受→感覚
愛→渇愛
取→とらわれ

有→生存
生→出生
苦→苦しみ
信→信（変更なし）
悦→歓喜

喜→喜（変更なし）
軽安→静寂
楽→楽（変更なし）
三昧→サマディ
如実知見→如実精通見解
遠離→現世否定
離貪→離愛著
解脱→離解脱

涅槃→煩悩破壊
般涅槃→完全煩悩破壊
中般涅槃→中完全煩悩破壊
生般涅槃→減少完全煩悩破壊
無行般涅槃→形状界にて経験の構成がなく功徳の果報を受けつつある完全煩悩破壊
有行般涅槃→形状界にて経験の構成があり真理の実践による完全煩悩破壊
一種者→一つの種子を持つ者
家家者→徳の高い家から家へと転生する者
極七返→最高七回流転者

正智→正精通
正解脱→正離解脱
心解脱→心の離解脱
慧解脱→智慧の離解脱

殺生→殺生（変更なし）
偸盗→与えられないものを強奪すること
邪淫→愛欲における邪悪な行為
妄語→嘘の言い方
綺語→軽薄語
悪口→乱暴な言葉
両舌→中傷の言葉
貪→愛著
瞋→邪悪心
癡→迷妄

愁→不運な出来事
悲→悲嘆
苦→苦しみ
憂→激痛
悩→悩み

五趣→五つの方向
善趣→幸福に向かうこと
悪趣→悲痛に向かうこと

カルマ→要素の蓄積
法→法則
梵行→神聖行
布薩→戒誓行
波羅提木叉→約束維持解放

頭陀→断修行障礙
袈裟衣→赤っぽい黄色の衣
衆生→生命体
四大種→四大元素
本生経→輪廻転生談

◆仏教・ヨーガ　言語対比表

愛欲界―現象界
形状界―アストラル世界
非形状界―コーザル世界
愛著―サットヴァ
邪悪心―ラジャス
迷妄―タマス

あなたに絶対の幸福を約束する

――オウム真理教

心身の悩みを解決したい
超健康体を得たい
豊かな生活を送りたい
素晴らしい人間関係を築きたい
スーパー・パワーを身につけたい
来世も幸福に生きたい
解脱し、永遠の至福を得たい

最高の教義、最高の奥儀、そして麻原尊師のもと、すべては確実に実現します。

●オウム真理教が誇る三つの基本的修行体系

1、マハーヤーナ修行体系

現実生活をより豊かにし、幸福な人生をお約束します。ご年輩の方、仕事が忙しく時間のあまり取れない方にお勧めです。

2、タントラ・ヴァジラヤーナ修行体系

行法、イニシエーションを中心として進め、霊性を向上させて、神秘世界を実体験することができます。この修行体系を選択すれば今生で解脱し、悟ることも夢ではありません。

3、テーラヴァーダ修行体系

原始仏教の上座部仏教を再現しました。真理にのっとって清浄な日常生活を送ることによって、幸せな来世が約束されます。また、経典の記憶修習によって心の成熟が促され、悟りを得ることが可能です。オウム真理教の深遠な教義を徹底的に学びたい方に最適です。

※資料請求券を貼付けしたハガキ、または電話にて最寄りの本・支部までご連絡ください。
入信案内等、詳しい資料をお送りします。

キリトリ線

根源仏典5
資料請求券

正統派上座部仏教の再現

テーラヴァーダ修行体系

『サキャ神賢直説根源仏典』翻訳の成果がここに！

わかりやすい法則と経典があるからこそ、実践可能な在家での正しい修行。正確な法則と経典があるからこそ、実現する在家での解脱と悟り。 テーラヴァーダ修行体系は麻原尊師の説かれる深遠な法則と完璧に翻訳された『サキャ神賢直説根源仏典』を学び、心の成熟・智慧の向上を目指す方に最適の修行体系です。

テーラヴァーダの智慧の真髄

『仏典研究』

麻原彰晃尊師説法、『サキャ神賢直説根源仏典』、高弟の成就体験談と盛りだくさんで、オウム真理教の教義が満載。仏典ファン、真理の探究者には見逃せない中味の濃い月刊誌です。

テーラヴァーダ修行体系を選択された方に、毎月お届けいたします。

根源仏典

真理の御魂　最聖　麻原彰晃尊師と、
オウム真理教『サキャ神賢直説根源仏典』
翻訳チームが総力を結集。
これがパーリ語『大蔵経』の世界！

綿密・厳密・正確なパーリ語研究の成果と
麻原尊師の純粋観照智によって訳語を決定。
サキャ神賢（仏陀釈迦牟尼）がお説きになった真理の教えを、
意味の取りやすい、わかりやすい用語で再現。
形骸化した既存の仏教の妄説を打ち破り、
難解なだけで何の役にも立たない学者の観念を超え、
躍動する本物の仏教の世界が今ここに！

二千六百年前のサキャ神賢の言葉が、今、正確に甦る……！

第一期シリーズ（★が既刊）

★①道に関係づけられた経典……Magga-Saṁyutta（2500円）
②覚醒段階に関係づけられた経典……Bojjhaṅga-Saṁyutta
③記憶修習の現象化に関係づけられた経典……Satipaṭṭhāna-Saṁyutta
④潜在性に関係づけられた経典……Indriya-Saṁyutta
★⑤正しい努力に関係づけられた経典……Sammappadhāna-Saṁyutta（700円）
⑥能力に関係づけられた経典……Bala-Saṁyutta
⑦如意の基礎に関係づけられた経典……Iddhipāda-Saṁyutta
⑧アヌルッダに関係づけられた経典……Anuruddha-Saṁyutta
⑨静慮に関係づけられた経典……Jhāna-Saṁyutta
⑩入出息に関係づけられた経典……Ānāpāna-Saṁyutta
★⑪真理の流れに入ることに関係づけられた経典……Sotāpatti-Saṁyutta（1000円）
★⑫絶対の真理に関係づけられた経典……Sacca-Saṁyutta（800円）

（以下続刊）

キミはもう尊師を聴いたか？

オウム真理教のラジオ放送

エウアンゲリオン・テス・バシレイアス

――真理の教えは全世界へのべ伝えられる

真理の御魂 最聖 麻原彰晃尊師の声があなたの耳を直撃！
今、オウム真理教では、日本全国に、
そして全世界に向けては英語で、毎日ラジオ放送を行なっています。
その名も「エウアンゲリオン・テス・バシレイアス」。
ギリシャ語で「御国の福音」という意味です。
その名に違わず、番組内容は魅力たっぷり。
ラジオから流れ出る〝福音〟は、きっと、あなたの心をときほぐし、
安らぎを与えてくれるでしょう。
そして、明日への新たな活力を与えてくれるに違いありません。

主な番組内容

- 真理の御魂 最聖 麻原彰晃尊師説法
- わたしは見た！これが尊師の超越神力
- 麻原尊師のノストラダムス秘密の大予言
- 驚異の運命学、大宇宙真理占星学

その他にも興味の尽きない内容が盛りだくさん！

日本全国どこでも AM1476kHz

22：15～1：15

英語放送（17，770kHz，17，860kHz他）

5：30～6：00，13：30～14：00

※今週の聴きどころなどを毎日紹介する便利なテレフォンサービスをぜひご利用ください。
TEL 03（5450）3602
※タイアップマガジン『えんじょい・はぴねす』定期購読受付中！
※詳しいお問い合わせは「エウアンゲリオン・テス・バシレイアス」係まで。
TEL 03（5450）6037

好評！ あなたとオウムをつなぐ

パソコン通信、〝オウム真理教ネット〟

オウムについてもっと詳しく知りたい……
教義その他について、
いろいろと聞きたいことがある……
オウムの人たちの生の声を聞いてみたい……
そんなあなたに最適な情報ネットワーク

オウム真理教ネット

電子掲示板
- 最新情報！ オウム真理教
- 尊師説法
- ジャータカ仏典
- なんでも人生相談
- 予言・占いコーナー
- フリートーク

電子会議室
- オウム真理教ってどんなとこ？
- わたしの神秘体験
- オウム真理教のラジオ放送について
- ザンゲの部屋

電子メール
- あなたの気にいった相手に

チャット
- 画面を通して解脱者とさあ 語ろう

フリーソフト
- 尊師画像
- 真理紙芝居
- 転生うらないゲーム

などなど

〝オウム真理教ネット〟のご紹介

TEL番号	03-5300-1800（4回線） Tri-P利用可能 （CXAUMNET）
通信速度	1200/2400bps
通信条件	BIT-8 PARITY-NONE STOP-1
プロトコル	X-MODEM Y-MODEM(-G)
ゲストID	GUEST
運用時間	24時間
入会方法	ゲストログイン後、 SYSOPあてメールにて申請

面倒な手続きはいっさいありません。オウムに興味をお持ちの方、聞いてみたいことがある方は、今すぐお気軽にご利用ください。

ただ今、新入会員の方に素敵なプレゼント（「えんじょい・はぴねす」最新号）をさしあげています。

●なお、その他詳細は下記までお問い合わせください。
〒156 東京都世田谷区赤堤2-42-5
オウム真理教ネット事務局 TEL 03-5300-1805

麻原彰晃の世界 PART21

麻原彰晃、戦慄の予言

この恐怖の世紀末——君は生き残れるのか!?

驚異的な的中率を誇り、注目を集めてきた麻原彰晃尊師の未来予言。大反響を呼んだPART1に続いて、またもや今回、衝撃の未来予言が続々と明らかにされた。今後の大型経済不況、想像を絶する新兵器が飛び交う人類最終戦争の様相、さらにはそのさ中に登場するキリストの役割や、ユダヤ勢力、世界的秘密結社との戦い等、世紀末の地球の姿が壮大なスケールで浮き彫りとなった動乱の世紀末を生き残りたい人には必読の一冊!

B6判 定価七〇〇円

真理の御魂 最聖 麻原彰晃尊師

オウム出版刊行案内

尊師説法集　麻原彰晃の世界

麻原彰晃の世界　PART1
幸福に至る四つの実践

尊師説法集第一弾。仏教の慈本ともいえる「四預流支」を縦横無尽に説いた画期的な説法群は、魂の解放を願う人はもちろんのこと、幸福な人生を求める人に本当の生き方を指し示す。

B6判　二五〇〇円

麻原彰晃の世界　PART2
尊師、麻原彰晃が斬る！

願望成就の秘法、UFO&宇宙人、医学、幼児教育、音楽、食糞、輪廻転生etc……。麻原尊師の魅力たっぷりの説法に、歌手鹿島とも子さんとの対談も加わってますます充実。

B6判　九八〇円

麻原彰晃の世界　PART3
真実、六道輪廻

六道とは、輪廻とは……。麻原尊師と高弟たちの瞑想体験が証明する六道輪廻の真実。大霊界、チャネリングなどの間違いだらけの死生観に終止符を打つ書。

B6判　九八〇円

麻原彰晃の世界　PART4
宗教にだまされるな！

霊障、水子供養、先祖供養、守護霊……。この世にはびこる間違った観念を打ち破り、正しい意味を説き示す麻原尊師。本当の幸福と心の安らぎを得たいあなたに。

B6判　九八〇円

麻原彰晃の世界　PART5
すべてを解き明かすカルマの理法がここに
絶対の真理

なぜ幸福なのか？　なぜ不幸なのか？　運命の鍵を握る"カルマの法則"。すべての人がこの法則に支配されていることを豊富な実例が証明！　この一冊があなたを幸福に導く。

B6判　九八〇円

麻原彰晃の世界　PART6
今生と来世を幸せに生きるウッタマダンマここに公開！
願望成就の秘法

思いのままに人生を生きられたらどんなに素晴らしいことだろう……。心からの幸福を願うすべての人々に、麻原尊師が仏教の願望成就の秘法をそっと伝授する。

B6判　八〇〇円

麻原彰晃の世界　PART7
仏教真理・八正道

原始仏教の根幹をなす教え「八正道」。仏教の基礎ともいえるサキャ神賢直説の教えを、麻原尊師が正確かつ現代人にわかりやすく説く。従来の仏教解説書では得られない生き生きとした教えを再現！

B6判　八〇〇円

麻原彰晃の世界　PART8
仏教真理・六波羅蜜

在家修行者の修行を飛躍的に進める六つの極限「六波羅蜜」。「八正道」と並び、仏教の根幹をなす教えを、ただ一人の最終解脱者麻原尊師が正確かつ鋭く、わかりやすく説いた。

麻原彰晃の世界　PART9

尊師、聖地インドを行く

B6判　七五〇円

サキャ神賢悟りの地、初転法輪の地、入滅の地等を巡りながら、麻原尊師が真理の法を説く。仏教発祥の地、インドで説かれた尊師の教えの集大成登場！　サキャ神賢のヴァイブレーションを受けて、最高の奥儀もここに公開される。

麻原彰晃の世界　PART10

仏教真理・五蘊無我

あなたを絶対幸福へと導く仏教の真髄

B6判　六五〇円

わたしたちを構成する五つの要素（五蘊）を浄化し、愛欲界を超えてブラフマンの世界へ、そして、最終的には完全に止滅し、不死へと至る教えを集大成した瞑想家待望の書。

麻原彰晃の世界　PART11

大人気を呼んだ尊師大学講演会特集

自己を超えて神となれ！

B6判　八二〇円

東大をはじめ京大、気象大など、九一年の大学祭で大反響を巻き起こした麻原尊師講演会。その、仏教のエッセンスを巧みに説いた講話に加え、人気を博した質疑応答も掲載した話題の書。

麻原彰晃の世界　PART12

仏教真理・十二縁起

B6判　六二〇円

サキャ神賢が説かれた、絶対自由・絶対幸福・絶対歓喜へと至る「十二縁起の法」。このプロセスを自ら体験された最終解脱者・麻原尊師が、詳細に解き明かす「十二縁起の法」の真実。

麻原彰晃の世界　PART13

麻原尊師インタビュー特集

これが尊師！

B6判　五七〇円

麻原尊師が最終解脱者の純粋観照智によって、宗教・人生論・宇宙観・科学など、あらゆる分野にメスを入れる。「朝まで生テレビ」にも出演し、話題を呼んだ尊師の生の声を一挙掲載！

麻原彰晃の世界　PART14

これがオウム真理教

宗教の条件

B6判　五七〇円

今、本物が明らかになる！　真の宗教の条件とは？　宗教ブームといわれる中、様々な宗教団体の中から間違いないく本物の宗教を選び出すための条件を、あますところなく説き示す一冊。

麻原彰晃の世界　PART15

仏教実践における在家幸福への道

絶対幸福への道

B6判　六二〇円

最終解脱者・麻原尊師が、幸福になるための最速・最短の道をあなたに伝授する！　あなたを確実に幸福へと導く秘法が満載された在家修行者座右の書、ついに登場！

麻原彰晃の世界　PART16

麻原彰晃　方便品

B6判　七二〇円

難解な仏教の比喩・奥儀が現代的に説き明かされた！　麻原尊師が巧みな方便でわかりやすく解説。読んで、考え、実践するための、本物のお経を公開！

麻原彰晃の世界　PART17

世界は尊師を待っている

B6判　一〇三〇円

ロシアで、そしてスリランカで、人種を超え、文化を超え、イデオロギーを超えて多くの人々の共感を得た講話と、高僧との対談を一挙掲載。今、尊師の説かれる「宇宙の絶対的法則」は、世界に響きわたろうとしている。

麻原彰晃の世界　PART18

世紀末の危機を乗り越えるために

THE説法 I

B6判　六七〇円

九二年六月に全国主要都市で行なわれた尊師講演会での説法を一挙に公開。「〝解脱〟が二十一世紀の日本を、そして世界を背負う！」――新しい時代の文明理念を明らかにした、待望の一冊。

麻原彰晃の世界　PART19

初公開！

タントラ・ヴァジラヤーナ最高の教え

THE説法 II

B6判　五七〇円

本来ならば直弟子にしか明かされない秘儀、タントラ・ヴァジラヤーナの高度な内容も惜しみなく公開。激動の時代において絶対不動の自己を確立させてくれる麻原尊師の説法の集大成。

麻原彰晃の世界　PART20

君は人類最終戦争を生き残れるのか？

麻原彰晃、戦慄の予言

B6判　六二〇円

恐怖に満ちた近未来の予言と同時に、その世紀末の破局を生き抜くためにはどうすればいいのか、真理の御魂最聖・麻原彰晃尊師がその確かな指針を示す現代人必読の書。

麻原彰晃の世界　スペシャル

約束の大地

B5判　オールカラー　一二〇〇円

インド・チベット・ラオス……。仏教ゆかりの地を尊師・麻原彰晃が行く。それぞれの国の光と影を見つめながら。尊師が初めて明かす高度な瞑想・秘儀の数々。その魅力を結集したファン待望の一冊。

真理開眼者の最新をあなたに

最聖 麻原彰晃尊師の本

絶対幸福の鍵を解く

生死を超える

増補改訂版

B6判　一八〇〇円

八年の歳月を経て修行の最終地点に立たれた尊師が解脱への道程を克明に語りかける不朽のベストセラーが、増補改訂されて新登場！　麻原尊師の教えに導かれ、生死を超えて解脱した四十八名の弟子の体験談を、解脱のプロセスに沿って掲載。

イニシエーション

B6判　二一六三円

本来ならば選ばれた弟子にのみ伝授される秘儀を惜しみなく公開。さらに今日の日本と世界の動向を正確に予言している驚くべき記述の数々。真理勝者があなたを真実の世界へと導く。

大乗ヨーガ経典

マハーヤーナ・スートラ

B6判　三〇九〇円

解脱とは？　解脱の真の意味合いとは？　多くの人々が求めてやまなかった解脱の真理が実体験として証明された。ここに示された解脱へのステップ、史上稀に見る解脱の体験談がすべてを語っている。

マハーヤーナ・スートラ PART2

「南伝大蔵経」に遺されたサキャ神賢の教えと真理を現代に甦らせる尊師の説法。そして、法にのっとって実践した弟子たちの体験談。読んで、考え、実践するための「本物のお経」がここに。

B6判　二一〇〇円

すべてが思いのままになる

超能力秘密の開発法 新・増補大改訂版

超能力のつかない修行はニセモノだ！すべてが思いのままになる縦横無尽の神秘の力があなたのものに。驚異の神秘力を有する麻原尊師が、秘密の修行を惜しみなく公開！

B6判　一二六〇円

癌・エイズだって怖くない!!

超能力秘密のカリキュラム 健康編・改訂版

アレルギー性鼻炎から癌・エイズまで、西洋医学の限界を破る治療法を病名別に詳しく紹介。さらに、超健康体・超能力をもたらし、霊性を飛躍的にアップさせる秘儀を満載。

B6判　一一〇〇円

原始仏典講義一

どんな学者も修行者も説き明かせなかったサキャ神賢の真理の法を、最終解脱者・麻原彰晃尊師が鋭く解説。いにしえの真実が、ここに生きた教えとして復活した！

A5判　二五〇〇円

幸福の科学の会員よ聞きなさい！

真実の仏陀の教えはこうだ！

こんなにも違う、真の仏陀の教えと幸福の科学大川隆法の教え。すべての仏典を熟知した最終解脱者・麻原彰晃尊師が大川流仏法の大ウソをズバリと正す。

B6判　九八〇円

百問百答

「人生うまくいかないな」とお嘆きのあなた。すべてを知り尽くした麻原尊師が、"運命転換の道"をあなたに伝授。実際に幸福を得た人々の体験があなたに希望の灯火を。

B6判　九八〇円

眠るクンダリニー・ヨーガ文明

古代エジプトの秘儀を解く

神秘の国エジプトで麻原尊師が発見した驚くべき真実。ピラミッド、スフィンクス、ヒエログリフ……。あまたの古代遺跡は、何を語りかけていたのか？封印されたエジプト古代文明の謎が、今解き明かされる！

B6判　六六〇円

色別恋人判定法

心や智性が発する色と光を、修行によって身につけたスーパー・パワーで自在に見ることができる麻原尊師が、だれでも簡単にできる色別恋人判定法を伝授！色の好みで、あなたの恋人の性格・人生をピタリと当てる！

A5判　オールカラー　一五〇〇円

麻原彰晃尊師説法集

ハイエスト・ダンマ

B6判　二〇〇〇円

サキャ神賢が最初にお説きになった「四諦十二縁起の法」をはじめとして、八正道などを含めた仏教の柱、七科三十七道品の詳細な説明、数々の瞑想の奥儀まで、麻原尊師の深遠な法が随所に展開されている上級者向けの一冊。

最聖　麻原彰晃尊師のベスト26

シンセ音楽をたのしもう

A4変形判　オールカラー　一〇〇〇〇円

真理の記憶修習の第一歩は歌から始めよう！　尊師が作詞・作曲された二十六曲すべてに尊師ご自身が解説をされた、愛蔵版歌曲集。

真理勝者　絶対最勝の法則

タターガタ・アビダンマ

すべての真理を内在した史上最強の法則

第一誦品

大宇宙の実相・改訂版

B6判　一三〇〇円

麻原尊師の修行体験と原始仏教などをベースに確立されたオウム真理教の教義をやさしく教えるオウム真理教入門書第一弾！　真実の宇宙観と魂の落下のプロセスを詳述する。

第二誦品

真理勝者の救済計画

B6判　五五〇円

日本で初めて、サキャ神賢が説いた全体系が明らかにされる！　魂が救済されていくプロセスと解脱への道程を段階的に詳しく紹介。わたしたちの歩むべき道を的確に指し示す最高の教えが満載！

第三誦品

サキャ神賢の在家信徒の実相

B6判　一五〇〇円

あの真理勝者サキャ神賢の時代、果たして在家の帰依者たちはどのような修行をしていたのか？　悩める現代人に贈る、麻原尊師からのメッセージ。

第四誦品

真理のすべて

B6判　二〇〇〇円

サキャ神賢が説かれた「真理の法則」のすべてを、麻原尊師がここに明かす！　あの「初転法輪（法則の車輪の発生）」を含む「諸相応（絶対の真理に関係づけられた経典）」が、日本初のパーリ原典完全訳でついに登場！

キリスト教のすべてを明かす

キリスト宣言

今世紀最後の救世主・麻原彰晃尊師が明かす、イエス・キリストの真実

PART1

キリストの教えのすべてを明かす

B6判　五五〇円

これがイエスの真実だ！　世にはびこる偽キリストたちを粉砕する衝撃の書。この一冊でイエス・キリストのすべてがわかる！

PART2

再臨・裁き・終末

B6判　五五〇円

神の審判のとき、この世は破滅する――。「聖書」にまつわる破局の様相が、今ここに明かされる。イエス・キリストの大予言をいよいよ解読！　わたしたちの未来はいかに？

PART3

偉大なグル、キリスト

B6判　一一〇〇円

大好評のシリーズ第三弾。仏教・密教・ヨーガの修行を究めた尊師だからこそわかる、これがイエスの説いた神聖世界の教えの真実！

PART4

イエスの真理の法則を解く

B6判　一〇五〇円

イエス・キリスト自身にその出現を予言された“真理の御魂”最聖「麻原彰晃尊師だからこそわかる「新約聖書」解釈。大好評のシリーズ第四弾は、さらに深く仏教的見地からキリスト教を分析。

あなたの持っている本当の力

超越神力

人の魂に宿っている力――それを発現させるものを修行という

PART1

天耳通・他心通

B6判　九八〇円

神々の声や遠くの音を聞くことのできる天耳通。他人の心を手に取るように読んでしまう他心通。今明らかになるこの超越神力のすべて。修行によって、あなたもこの素晴らしい力を持つことができる。

PART2

前生を知れ！死生智の秘密

B6判　九八〇円

無始の過去から輪廻転生を繰り返しているわたしたちの魂。瞑想によってサマディ（三昧）に入ったとき、様々な前生の記憶が甦る。本書では、麻原尊師の興味深い前生体験を満載！

PART3

完全なる絶対なる神の叡智、漏尽通

B6判　五五〇円

智慧の解説、心の解説で心のけがれを完全に破壊した最終解脱者だけが知る“完全なる絶対なる神の叡智”とは？最後の超越神力、漏尽通の秘密が今明らかになる。

PART4

わたしは見た！これが尊師の超越神力

B6判　五七〇円

あなたは信じられるか？まさに超越神力と呼ぶにふさわしい超能力の数々を見せる麻原彰晃尊師。その超越神力を目の当たりにした内弟子たちの生の声を豊富に掲載。

パーリ語文法入門書

PALI MADE EASY

パーリ メイド イージー

A5判　一八〇〇円

Ven. E. Ānanda Maitreya Mahānāyaka Thera, D.Litt. 著

スリランカ最高の叡智、アーナンダ・マイトリー高弟が、難解とされてきたパーリ語文法をわかりやすく解説。豊富な例と例題で実力が養える。仏典を原典で学びたい方には必携のパーリ語入門書。

本部・各支部ご案内

富士山総本部　0544(54)1267
〒418-01　静岡県富士宮市人穴381-1
東京総本部　03(5467)2745
〒107　東京都港区南青山7-5-12
マハーポーシャビル2,3F
世田谷道場　03(3327)8565
〒156　東京都世田谷区赤堤2-42-5
杉田村松ビル1F
杉並道場　03(3396)9393
〒167　東京都杉並区下井草4-4-4
井口ビル2F
札幌支部　011(241)4938
〒060　北海道札幌市中央区北2条西2丁目
19-1 チサンホテル本館2F
仙台支部　022(268)3904
〒982　宮城県仙台市若林区河原町
1-4-20 十全会ビル2F
水戸支部　0292(26)8044
〒310　茨城県水戸市中央2-2-1
HDビル6F
高崎支部　0273(46)1573
〒370-12　群馬県高崎市倉賀野町
下稲荷前1081-5
船橋支部　0474(66)4965
〒274　千葉県船橋市新高根6-26-18
横浜支部　045(243)8079
〒231　神奈川県横浜市中区若葉町3-41-2
コスモ伊勢佐木長者町ビル204
金沢支部　0762(51)8457
〒920　石川県金沢市京町25-20
ソフトオフィスビル2+4 2F
松本支部　0263(28)7429
〒399　長野県松本市芳川野溝527-3
福井支部　0776 (26) 6145
〒910　福井県福井市御幸3-3-41
東伸ビル2F
名古屋支部　052(252)0709
〒460　愛知県名古屋市中区栄5-8-14
万国ビル3F
京都支部　075(371)3759
〒600　京都府京都市下京区堀川通り
松原上ル五軒町384 松本ビル2F
大阪支部　06(251)4264
〒541　大阪府大阪市中央区久太郎町3-2-15
マルイビル1F,B1F
堺支部　0722(21)1843
〒590　大阪府堺市海山町4-168-9
和歌山支部　0734(24)2859
〒640　和歌山県和歌山市駿河町42
和歌山酒販会館2F
広島支部　082(264)7252
〒732　広島県広島市南区西蟹屋4-4-18
和田ビル3F
高知支部　0888(84)8286
〒780　高知県高知市はりまや町2-8-8
安藤ビル2F
福岡支部　092(474)2877
〒812　福岡県福岡市博多区博多駅前
2-6-15 第一渡部ビル6F
那覇支部　098(866)9537
〒902　沖縄県那覇市安里2-4-12
嘉数グラビアハイツ5F
深谷出張所　0485(74)8143
〒366　埼玉県深谷市萱場441-8
渋谷出張所　03(3476)5065
〒150　東京都渋谷区道玄坂1-15-3
プリメーラ道玄坂317号
若林出張所
〒154　東京都世田谷区若林1-1-2
藤和シティコープ若林602号

〈海外支部〉
ニューヨーク支部　212(421)3687
8 East 48th St.＃2E (2nd Floor),
New York, N.Y. 10017 U.S.A.
ボン支部　(0228)616647
Auf dem Hügel 48, 53121
Bonn, S.R.Germany
スリランカ支部（AUM SACCA SAṄGHA ASSOCIATION）
Horahena, Watte, Angulugaha,
Galle, Sri Lanka
モスクワ支部　7-095-455-95-32
Kindergarten No.468, 32A
Petrozavodskaya ul. Moscow,
125475 Russia

根源仏典5
正しい努力に関係づけられた経典
（サンマッパダーナ・サンユッタ）

一九九三年九月十五日　初版発行

定価　七〇〇円
責任監修　真理の御魂（みたま）　最聖　麻原彰晃尊師
発行者　松本知子
　　石井久子
発行所　株式会社オウム
東京都世田谷区世田谷二―八十一七
郵便番号　一五四
電話　〇三（三四三九）六〇四三
振替　東京二―一〇九三一五

乱丁・落丁がありましたらお取り替えいたします。

© His Holiness the Master, Shoko Asahara 1993
ISBN4-87142-087-6 C0315-P700E

根源仏典 5

正しい努力
に関係づけられた経典
Sammappadhāna-Saṁyutta

ISBN4-87142-087-6 C0315 P700E
定価700円（本体680円）